

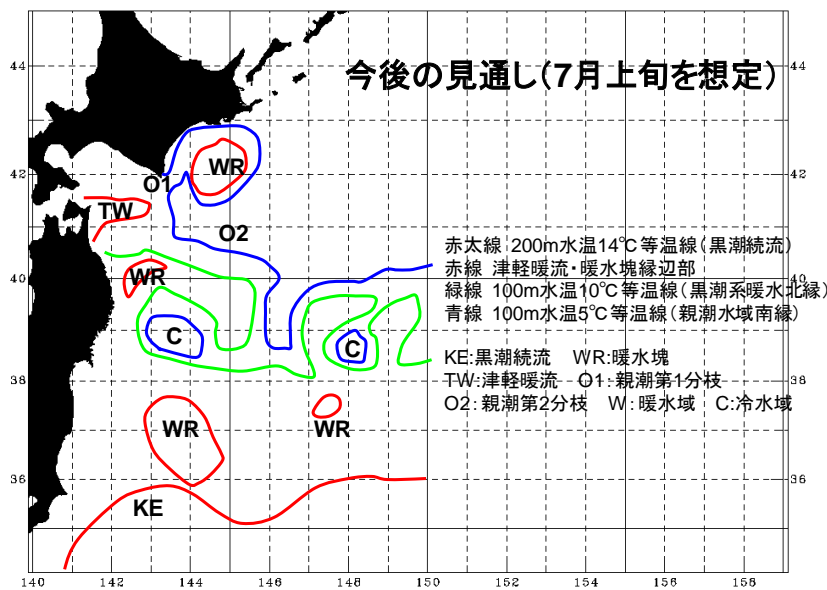


## 平成28年度 第2回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構  
北海道区水産研究所、東北区水産研究所がとりまとめた結果 —

### 今後の見通し(平成28年6月下旬~7月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置は平年並みで推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しは極めて北偏で推移する。
- ・ 釧路沖の暖水塊は停滞する。三陸沖、三陸はるか沖、常磐沖の暖水塊は西進する。
- ・ 三陸沖、三陸はるか沖に冷水域が形成される。



### 問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 北海道区水産研究所

担当: 業務推進部 大迫、塚本

生産環境部 黒川、東屋

電話: 011-822-2131、ファックス: 011-822-3342

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.fra.go.jp/>

## 平成28年度東北海区海況予報 第2号

### 《今後の見通し（2016年6月下旬～7月）》

近海の黒潮続流の北限位置は平年並みで推移し、親潮第1分枝の張り出しは極めて北偏で推移する。釧路沖の暖水塊は停滞し、三陸沖、三陸はるか沖、常磐沖の暖水塊は西進する。三陸沖、三陸はるか沖に冷水域が形成される。

### 《海況の経過（2016年4月～2016年5月）の特徴》

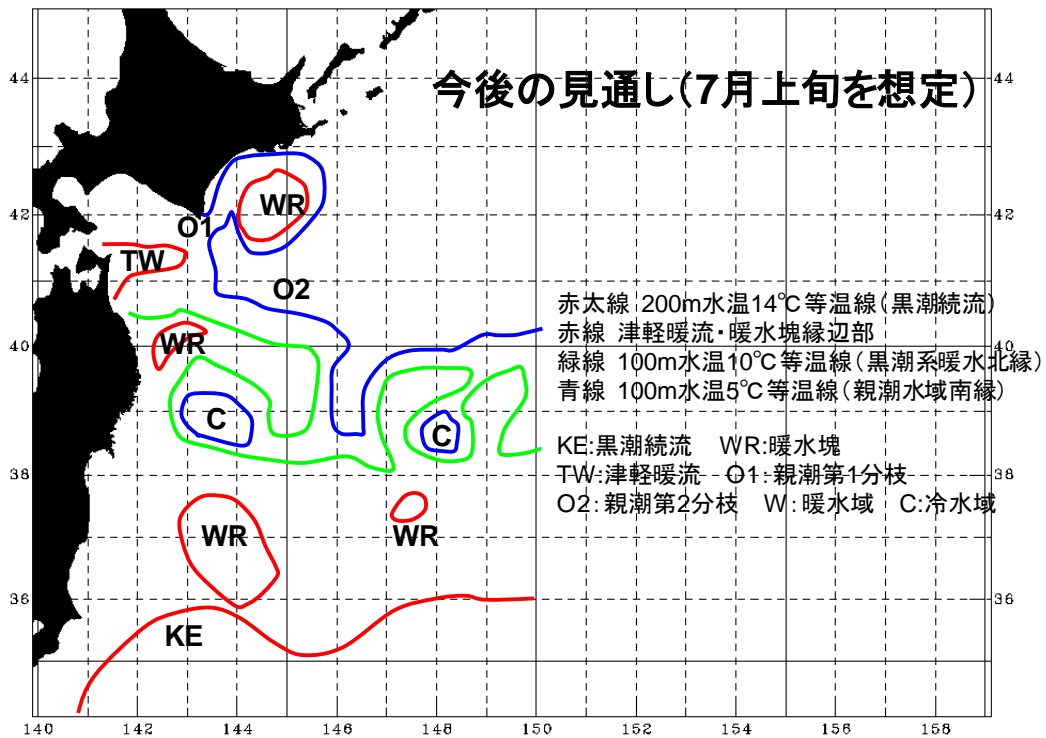
近海の黒潮続流の北限位置は平年並みからやや南偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しはやや北偏から極めて北偏で推移した。釧路沖と三陸はるか沖の暖水塊は西進し、三陸沖、常磐沖に暖水塊が形成された。

### 《現況（2016年6月上旬）の特徴》

近海の黒潮続流の北限位置は平年並み、親潮第1分枝の張り出しは極めて北偏である。釧路沖、三陸沖、三陸はるか沖、常磐沖に暖水塊がある。三陸近海に親潮第1分枝に連なる冷水域がある。

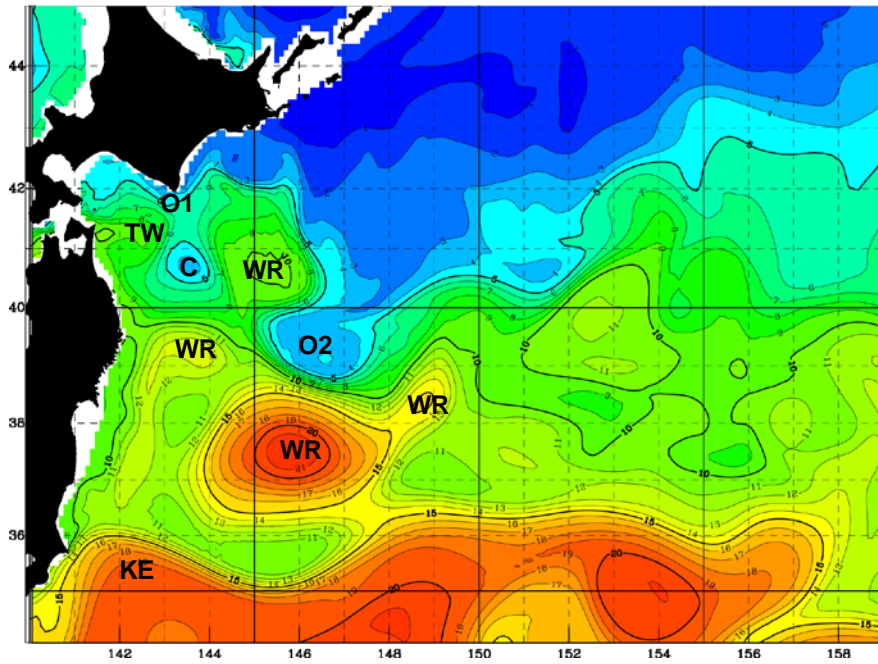
（注）この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2012年5月より運用を開始したFRA-ROMSシステムを用いた。FRA-ROMSは、我が国周辺太平洋域の海況経過を再解析し、2ヶ月先までの海況を予測する海況予測システムである。

### 7月上旬予測水温分布図



6月上旬現況水温分布図 (100m深)

TEMPERATURE AT 100m DATE: 2016/0601 - 2016/0610



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊、Cが冷水域を表している。

## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p> <p>茨城県水産試験場</p>	<p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>国立研究開発法人水産研究・教育機構 北海道区水産研究所</p>
---	--